

第7回 **Bibliothèque** 文明講座

ドキュメンタリー映画『アイ・コンタクト』公開記念

東京大学 准教授

映画『アイ・コンタクト』監督

# 酒井邦嘉 × 中村和彦 トークショー

「アイコンタクト／目は脳の一部である」

手話とは何か、言語とは何か



「目は口ほどにものを言う」といいますが、実は目は神経の入出力を備えた脳の一部です。また、映画『アイ・コンタクト』で印象的に描かれているように、手話は手を使うだけでなく、相手と目を合わせることで心を通わす言語なのです。言語と心の基礎が脳にあることを理解すれば、手話は人間にとっていかに自然な言語であるかがとても良く分かることでしょう。 ※イベントでは手話による同時通訳が入ります。

2010年9月11日(土) 15:00～17:00 (14:30 開場)

入場料：1,500円(当日精算)


会場：Bibliothèque(ビブリオテック)

予約制：電話または店頭にて受け

東京都渋谷区千駄ヶ谷3-54-2

Tel.03-3408-9482(定員60名様)

[www.superedition.co.jp](http://www.superedition.co.jp)

予約受付：火～土曜 12:00～20:00(祝日除く) 協力： パンドラ

2009年夏、台北。第21回夏季デフリンピック(聴覚障がい者のオリンピック)に初出場を果たした“ろう者女子サッカー日本代表チーム”。高校生や大学生もいれば、30代の選手もいる。環境も職業もさまざま、手話を覚えた時期も異なる彼女たちが全国各地から集まり練習を積み重ね、思いのたけを込めて台湾での試合に挑んだ。初めて世界に挑戦することで成長してゆく選手たち。映画は大会のみならず、学校や職場など、それぞれの歩んできた道や家族の思い、ろう教育の変遷と現状などにも迫ると共に、おしゃべりで、おしゃべり、サッカー大好きな等身大の選手たちを描き出す。



2010年9月18日(土)より  
ポレポレ東中野にて上映  
www.pan-dora.co.jp/eyecontact

## 酒井邦嘉

さかい・くによし

1964年生まれ。東京都出身。東京大学 大学院理学系研究科 博士課程修了 理学博士。1996年マサチューセッツ工科大学 客員研究員を経て、1997年より東京大学 大学院総合文化研究科 助教授・准教授。2002年第56回毎日出版文化賞、2005年第19回塚原伸児記念賞 受賞。専門は言語脳科学および脳機能イメージング。著書に、「言語の脳科学」「科学者という仕事」(中公新書)や「脳の言語地図」(明治書院)などがある。

## 中村和彦

なかむら・かずひこ

福岡県出身。早稲田大学第一文学部在学中よりフリーの助監督・監督補として数多くの監督につき、テレビドラマ、オリジナルビデオ、劇場用劇映画、ドキュメンタリー映画等の監督を経て現在に至る。近年はスポーツ関連DVDの作品も多い。主な監督作品/「樺Bastoni」(2001年フィラデルフィア国際映画祭正式出品)/「日本代表激闘録 2010年FIFAワールドカップ南アフリカアジア地区最終予選」(2009年)をはじめとするサッカー日本代表激闘録シリーズ/「ワールドベースボールクラシック日本代表栄光への奇跡」(2009年)など多数。

長編ドキュメンタリー「プライドinブルー」(2007年)にて文化庁映画賞優秀賞受賞。

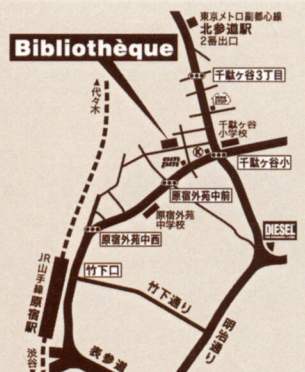
2007年より、ろう者サッカー女子日本代表チームの選手たち取材し、本年3月に「アイ・コンタクト」を完成させる。

## About Bibliothèque

パリにあるあまたのカフェ。Le Dôme, Chat Noir, Deux Magots, La Coupole, Le Flore…。それらの音を重ね合わせると、様々な顔が浮かび上がってくる。ロートレック、モジリアニ、フジタ、サルトル、ブルトン、マルローなどの顔が。放浪する魂は、同類を引き寄せ。カフェに集まる様々な相貌。沸き立つ叫びと囁き。一瞬の閃きを捉え、考えをより深め、そして何よりも他人を見出す場所。まさにカフェは、人間を熟成させる場所だったので。そうした時を経て、30年代に「嘔吐」が、40年代に入り「異邦人」が Gallimard から放たれ、これらの作品は世界のシステムに対して「Non」を投げつけることとなります。

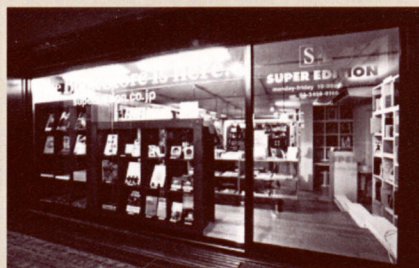
2010年2月8日にオープンしたBibliothèqueも、オーナーのそんな思いで作られました。志はあくまで高く。書籍主体(蔵書約6,000冊)のカフェの誕生です。オープン以来、様々な方に訪れていただきました。インスピレーションを得るために、デザインの資料探しに、言葉を求めに、そして一人で在るために。決して広い空間ではありません。けれどもこの空間の中に、充ちた世界を閉じ込めました。「世界を見るために、世界中を旅する必要はない。今、ここに、あなたの目の前にある一枚のマロニエの葉に、世界を見る事が出来なければ、永遠に世界を見ることは出来ないだろう」(ジャコモメッティ)

Bibliothèqueは、世界へ向けて開かれた窓でありたい。Micro's Macro(小さいながらの宇宙)を目指して、お客様とともに歩を進めて参ります。是非、ご来店ください。



東京都渋谷区千駄ヶ谷3-54-2  
山手線 原宿駅・副都心線 北参道駅から徒歩7分

SE  
Bibliothèque  
ビブリオテック  
BOOKS  
&  
CAFÉ



OPEN 12:00→21:00 Tuesday→Saturday  
www.superedition.co.jp

このスペースは、1975年に創立したデザイン事務所:株式会社スーパースタジオが長年にわたり蒐集した蔵書を一般の方々に開放し、自由に閲覧していただくために開設しました。名前はBibliothèque(ビブリオテック:図書室)。Bruce WeberやAvedon, Penn, Herb Rittsなどの写真集やAndy WarholやDamien Hirstなどのアートブック、歌舞伎や陶芸、浮世絵などの日本文化、そして、70年代、80年代のVOGUEやELLEなどのファッション雑誌や、映画本、料理本などなど、今では手に入らない初版本、絶版本もたくさんあります。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。  
薫り豊かなコーヒー、または紅茶をお淹れします。ご利用料はお一人様¥500です。